



ワシントン大学看護学科(シアトル, 米国)スタッフの受け入れを行いました (2019/3/29)

テーマ：国際交流, 2011年東北地方太平洋沖地震、カスケード超巨大地震
場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市）

東北大学とワシントン大学間の連携のためにワシントン大学に設置された組織 Academic Open Space によるサポートを受けて、3月29日に、ワシントン大学看護学科（シアトル, 米国）より Dept of Psychosocial & Community Health Faculty & Administration 部門の Gail Johnson 上級講師、Family and Child Nursing 部門の Mayumi Willgerodt 准教授そして Center for Global Health Nursing 部門の Pamela Kohler 准教授が、当研究所を訪れました。拠点メンバーからは、実践防災学研究領域の今村文彦教授、マリ・エリザベス准教授、災害医学研究領域の江川新一教授、奥山純子助教、災害人文学研究領域の高倉浩樹教授、福田雄助教が参加しました。

今回の訪問では、ワシントン大学看護学科と災害研の今後の連携・協働体制について話し合いが行われました。その後、展示室の見学や3Dドキュメンタリー作品「大津波 3.11 未来への記憶」(NHK テクノロジーズ)の上映会が行われました。

文責：奥山純子（災害医学研究領域）



ディスカッションの様子



ワシントン大学の皆様を囲んで



展示室見学の様子

以上